

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	建築物の解体工事研究小委員会		主 査 名：湯浅 昇 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)		委員長名：橘高 義典 主 査 名：小山 明男
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	鉄筋コンクリート造および鉄骨造建築物等の解体工事の質的向上、安全確保と環境保全ならびに建設副産物の再利用促進と建設廃棄物の適正処理を達成するための施工標準として「建築物等の解体工事指針(案)」(仮称)を制定し出版することを目的とする。 初年度：指針の本文および解説の作成 2 年度：査読対応および成果の公表		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：湯浅昇(日本大学)、幹事：小山明男(明治大学)、委員：青木孝義(名古屋市立大学)、浅見琢也(JATI 協会)、北垣亮馬(東京大学)、島田啓三(建設廃棄物協同組合)、竹本正治(ベステラ)、道正泰弘(名城大学)、中田善久(日本大学)、藤本郷史(宇都宮大学)、出野政雄(全解工連)、柳田克巳(鹿島建設)、国枝陽一郎(首都大学東京)		
設置 WG (WG 名：目的)	建築物の解体工事指針改定作業 WG：解体工事に関連する環境および労働安全関係の関連法令について、指針内容が適合していることを確認するための指針改定 WG を設置する。		
2020 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	コロナ禍により、2020 年度前半は委員会開催が困難となり、目標とする指針出版に至らなかった。2020 年度後半より遠隔会議システムで実施し、指針完成に向けて作業を再開することができた。
委員会活動の問題点 ・課題	対面による会議ができないため、指針原案に対する細かいチェックが行き届いていないが、今後はオンラインやデータ共有サーバを有効利用して検討を促進させる。